

# 特集 新しい公立小松大学(仮称)

## ってどんなところ? 平成30年春開学に向けて 現在、構想中

Coming Soon



ふるさとづくりは「ひとづくり」から――。

その大きな柱となるのが、平成30年の開学を目指す公立4年制大学です。

今回の特集では、構想中の「小松の未来を創る」大学の概要を現在の高校2年生が調査しました。

※文部科学省への申請前の段階であり、記事に書かれた内容は変更となる場合があります。

ますます、海外との交流が深まるね

地域から世界まで多くのことが学べるね



市立高校2年 橋本駿さん(右)

小松の強みを生かし 世界に羽ばたく 学びの学部へ

グローバルに交流する「国際交流ネットワーク」、高い技術力と専門性を有した北陸屈指の「ものづくり力」、高度・専門的な医療福祉体制が備わった「先進医療体制」。これらは全て小松市が誇る優れた特長です。

大学のカリキュラムは、これら3つの強みを生かした分野(学部)で構成されます。

### 際立った小松の強み

#### 国際交流ネットワーク



北陸の拠点空港となる小松空港では、国際線の定期便や国際貨物便の就航が盛んになり、人とモノの交流が拡大しています。小松短期大学でも、台湾・建国科技大学、タイ・プリンスオブソクラ大学などの学生の相互派遣や海外インターンシップなどが活発に行われています。

#### 先進医療体制



小松市民病院は、南加賀地域の中核病院としての役割を担い、最新の治療と看護を提供しています。こまつ看護学校と小松短期大学では、地域医療を支える看護師や臨床工学技士を育成しています。

#### ものづくり力



建設機械の世界的なトップメーカー「コマツ」に代表される機械産業分野をはじめ、幅広い技術が集積しています。社会の発展に欠かせないものづくりの精神は、地域全体で培われています。

自宅から通える場所に大学ができるとうれしいね

小松市が大学をつくるんだね

どんな学部があるのかな



(右から) 小松大谷高校2年 今本芽生さん 竹内直仁さん 金平玲奈さん 木田ひかりさん イーサン・シェイクさん

新しい大学には3つの学部があるよ



国際文化交流学部 (仮称)	保健医療学部 (仮称)	生産システム科学部 (仮称)
国際文化交流学科(国際観光文化コース、グローバルコミュニケーションコース)	看護学科 臨床工学科	生産システム科学科 (生産機械コース、知能機械コース)
異文化について学び、自らの国や地域についても理解し、グローバル社会において幅広く活躍できる能力を養います。	高度化・複雑化する医療現場に対応できる知識・技術を学び、健やかな生活と社会に貢献できる「看護師」「保健師」「臨床工学技士」を目指します。	持続可能なものづくりを支える高度な専門知識を学び、産業分野で幅広く活躍するための実践力+応用力を養います。

みんなの期待に応える 学びの最前線に!

住みよいふるさとで安心して学び、広い視野と高い専門性を兼ね備えた、地域(ローカル)と世界(グローバル)で活躍できるグローバル人材を育成する。

そんな「社会に求められる人間性豊かなひとづくり」が目標です。

2年後に開学すると現在の高校2年生から受験できるね!



(右から) 市立高校2年 福田凧紗さん 村田拓哉さん 河原美月さん 川上綾摩さん 本田百花さん



小松駅前のビル2~3階は、1年~2年の教養教育と国際文化交流学部のキャンパスなんだね!



### 開かれた大学へ

市民の皆さんに利用していただけるように、大学図書館や自習室などの一般開放や特別授業の一般公開も検討しています。

### 小松駅南ブロック 複合施設

**学びの核となる魅力的な3つのキャンパス**

現在の小松短期大学とこまつ看護学校(一部増築)に加えて、JR小松駅前の「小松駅南ブロック複合施設」(2~3階部分)を新キャンパスとして整備します。

**市民の学びをリードしふるさとに貢献するオールこまつの新拠点**

「若者が地元で学び、地元で働ける人材を育てる大学」の開学は、地方創生や地域活性化の面からも大きく注目されており、多くの皆さんからの強い期待と後押しを受けています。国や県、そして皆さんの支援を力に、2年後の開学を目指し、全国から評価される大学ブランドの確立に向けて取り組んでまいります。

また、これからの大学は学生のためだけのものではありません。子供からシニアまで、あらゆる市民の皆さんの「学び」をサポートする人材育成拠点として、ふるさと全体への貢献が求められています。

多くの人が集い、新しい出会いを重ね、交流とにぎわいを創出していくオールこまつの新拠点を目指し、「小松の未来を創る」大学の開学準備を進めてまいります。

ここが面白いね!  
ここがスゴイよ!

まちには多くの若者があふれ、地域と一体となって、勉強や研究活動、地域活動に励む姿が思い浮かびます。

一流のものづくり企業の現場で学べるのは心強いね!

小松工業高校2年  
フィリップ・ガブリエルさん

### 【生産システム科学部】

### 栗津 キャンパス(仮称)

北陸地方屈指のものづくり集積地で、企業の現場で生きる技術と知恵を習得



異文化を学び、地域と世界をつなごう!

### 市内全域で 学生が交流する 3キャンパス体制

### 【国際文化交流学部】

### 小松駅前 キャンパス(仮称)

教養教育と連携したグローバル教育



アクセスに優れた立地を生かして、地域と世界をつなぐ交流スキルを習得

### 【保健医療学部】

### 向本折 キャンパス(仮称)

南加賀地域の中核医療拠点に隣接したキャンパスで、地域医療を支える人材を育成

小松市民病院の隣にも、新しい大学のキャンパスができます!



**地** 方創生の大きな担い手として、地域の「地知」の拠点となる公立小松大学(仮称)を設立しよう。「公立4年制大学設立協議会」での審議でこのようにまとまりました。

この大学は、現在の小松短期大学とこまつ看護学校を母体とするもの、単にその2校を統合した学校ではなく、新しい大学として構想されました。地域にしっかりと根を下ろしながら国際性の豊かな大学、学術の基盤をしっかりと踏まえながらこれからの時代を牽引する先進性をもつ大学を志向しています。

「ものづくり」と「地域医療」と「国際文化」の3部門からなる学部構成で、平成30年4月の開学を目指しているこの大学には、小松市民、石川県の温かいサポートが不可欠です。学生と市民がともに学び、ともに未来を切り拓くこの新大学をどうか力強くご支援ください。



interview

公立4年制大学設立協議会  
座長 石田寛人さん

18歳になると私達も有権者!  
立派な社会の一員として  
ふるさとで勉強して活躍しよう!

「オールこまつ」で  
開学準備!  
もっと輝く  
「こまつの未来」へ

PASS  
THE  
BATON



特集に関する問い合わせ

公立大学設立準備室

☎44・3530